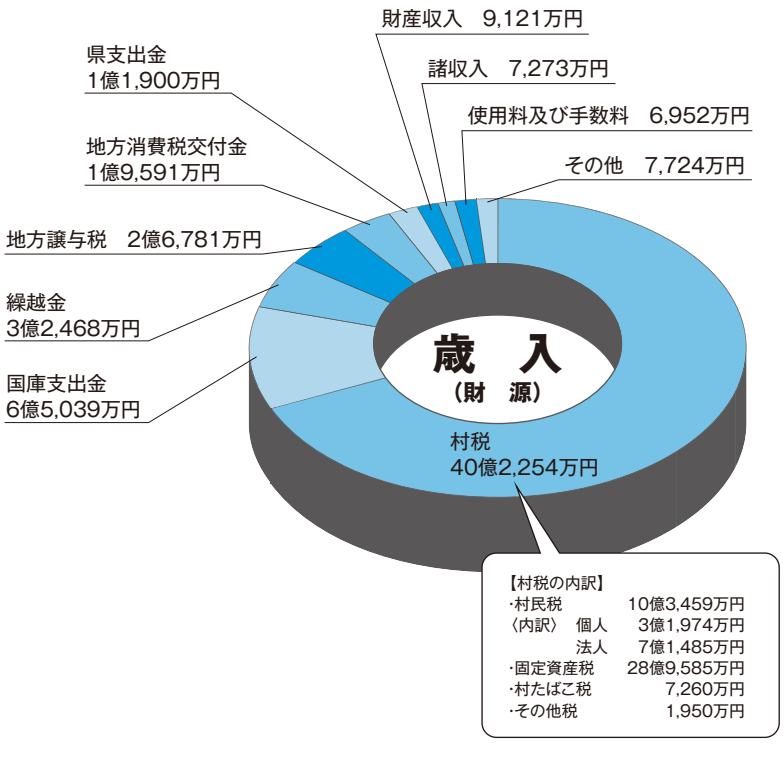
平成27年度決算
一般会計 特別会計 83億を検証!!



9月定例会のあらまし

9月定例会は、1日に招集され、23日までの23日間の会期で開かれました。

条例改正1件、補正予算7件、平成27年度の会計決算7件、財産の処分1件、規約に関する協議1件の17議案が提出され、いずれも原案のとおり可決・認定しました。

また最終日には、人事案件3件、議員提案の意見書2件が追加提出され、いずれも原案のとおり可決・採択しました。

一般質問は、会期15日目（9月15日）に8人が当面する村政の問題をただしました。

一般会計

一般会計決算

歳入（財源）	58億9,103万円
歳出（使いみち）	57億1,325万円
差引額	1億7,778万円

質疑

問 村税は予算に比べ3億増え約40億となったが、28年度の当初予算は32億である（骨格予算のため4月に増額し36億）。28年度の見通しはどうか。

答 固定資産税は安定した収入が見込めるが、法人村民税は現段階で最終の見通しまでは難しい。

問 愛知県の最低賃金は840円だが、シルバー人材センターの現状はどうなっているか。

答 800円が一番低い時間単価で、毎年タイムラグはあるが見直しはされている。

問 私学助成は年額1万円とのことだが、もう少し出してもいいのではないか。

答 この単価は海部津島地域の首長で検討し金額を決定している。その中で話が出れば検討する。

問 就学援助の所得基準がはっきりしないが、どのように知らせているか。

答 学園を通じてPRしている。説明会を開催しているが、あくまで申請主義なので所得を調べてまでのお知らせはしていない。

問 プールはスライダーの保守、シャワーの保守というように別々に発注しているが、全体的にまとめて責任の持てるような体制にしていただきたい。

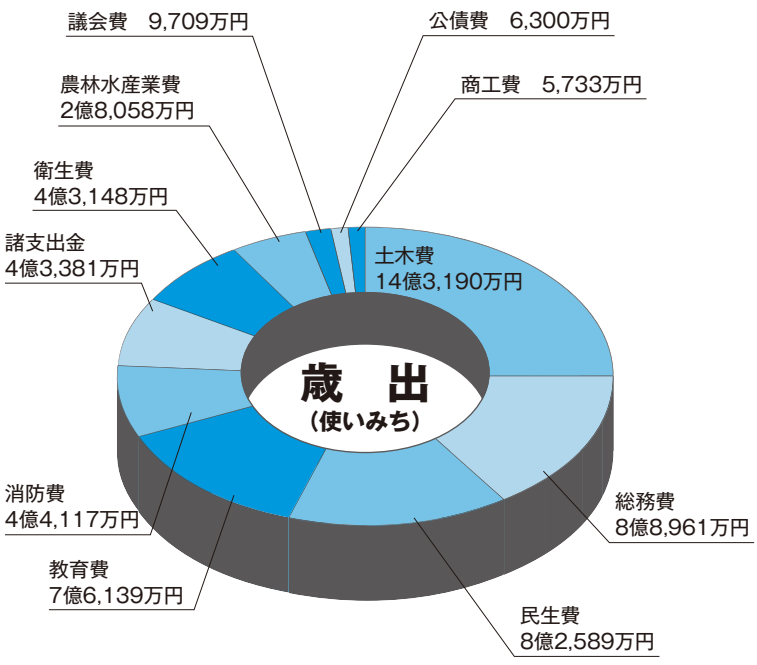
答 現状はそれぞれの専門業者に委託している。今後は改修を機に指定管理者制度の導入も視野に入れて検討していく。

問 学園のエコキュートの保守委託だがどのような形態でやっているのか。

答 保守点検で年2回は来てもらうが、支障があった場合はその都度無料で直してもらうプランで契約をしている。

問 エコキュートの保守で70万も出すならガスで沸かしたほうが安くないか。

答 学園開校の時に300リットルのエコキュートを2台設置した。値の張るものだったので保守をしながら長く使ったほうがいいという判断で委託をしている。



討論

反対…鈴木義男議員

避難所は必要だと思うが費用対効果も考えるとぜいたくな避難所ではないかと思い反対する。

反対…橋本　渉議員

豊かな財政は、国民健康保険税の値下げや学校給食費の無料化など、もっと住民負担軽減のために使い、財源を住民に還元していくべきだと考え反対する。

賛成…渡邉一弘議員

安心・安全・安定の村づくり推進に向け、事業計画に沿って適切に執行されており、今後も最良な事業の推進と予算の執行を望み、村民の生活環境の向上に努力することを願い賛成する。

（賛成7反対2で認定）

特別会計

決算額

（千円以下切り捨て）

会計名		歳入額	歳出額	差引額
国民健康保険		6億6,222万円	6億243万円	5,979万円
農業集落排水処理施設事業		2億4,668万円	2億4,235万円	433万円
土地取得		1億4,593万円	1億4,593万円	0円
介護保険	保険事業勘定	4億2,998万円	4億1,743万円	1,255万円
	サービス事業勘定	163万円	74万円	89万円
後期高齢者医療		6,356万円	6,289万円	67万円
宅地造成事業		1億2,025万円	6,535万円	5,490万円

国民健康保険

討論

反対…橋本　渉議員

保険税の料金が高く住民の負担は大きくなっている。住民負担軽減のために繰り入れを行い負担軽減を進めるべきだと思い反対する。

賛成…伊藤秀樹議員

毎年増加傾向にある医療費と少子高齢化の社会情勢を鑑みれば、住民の負担増は避けられないが、今以上の住民負担を増やさず、先を見据えた健全な国保財政を目指し努力することを願い賛成する。

（賛成8反対1で認定）

農業集落排水処理施設事業

（全員賛成で認定）

土地取得

（全員賛成で認定）

介護保険

討論

反対…橋本　渉議員

介護保険料は本当に高く負担が増大している。サービスを受けようとしても利用料がいる。またサービスそのものも規制が厳しくなり、受けたいが受けられない、認定されないという状況も生まれている。サービスが縮小される割に負担だけは増大している制度であるため反対する。

賛成…井田晴己議員

この会計は主に保険給付であり、額は微増している。今後も高齢者の増加に伴い要介護認定者は増加の一途をたどることは明白である。介護予防事業の積極的な展開と適正なサービスの提供で、いつまでも住み慣れた地域でできる限り自立した生活を送っていただくための一助となるよう、適切な運営を願い賛成する。

（賛成8反対1で認定）

後期高齢者医療

討論

反対…橋本　渉議員

この制度は高齢者を医療差別する制度から始まっており、負担も増大している。過去には高齢者の医療費は無料であったが、今は1割負担や将来的には2割3割への負担増大が図られようとしている中で、こういった特別会計が作られているので反対する。

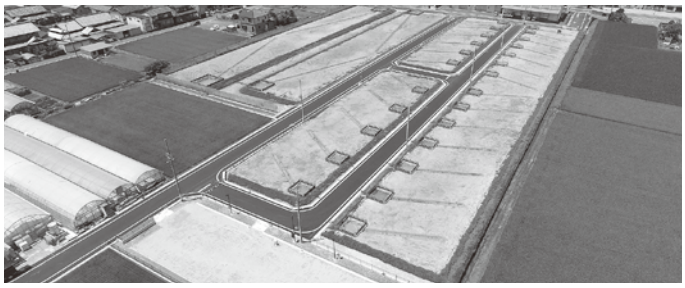
賛成…鈴木康祐議員

この会計は高齢者の保険料を広域連合に納付するための会計であり、高齢者が安心して医療を受けられるようにするための制度である。今後も増え続ける高齢者医療費を国民すべてで支える保険事業のさらなる充実を願い賛成する。

（賛成8反対1で認定）

宅地造成事業

（全員賛成で認定）



渚地区住宅開発地

基金名		平成27年度末現在高
財政調整基金	現金等	44億8,972万円
地域整備基金	現金等	40億6,840万円
減債基金	現金等	2,792万円
人材育成基金	現金等	5億1,000万円
地域福祉振興基金	現金等	1億3,694万円
※国民健康保険支払準備基金	現金等	3,128万円
土地開発基金	不動産（土地 雑種地）	4,514.00㎡
	現金等	1億6,835万円
介護給付費準備基金	現金等	676万円
基金合計	現金等	94億3,937万円

※「国民健康保険支払準備基金」は平成28年10月から「国民健康保険財政調整基金」と名称が変更になります。

監査委員の決算審査意見

平成28年7月12日から7月26日にかけて監査委員伊藤幹男氏、井田晴己氏により、決算審査が行われました。

一般会計、特別会計、土地開発基金の運用状況を審査した結果をまとめ、8月17日に意見書として村長に提出しました。

審査の結果および意見

平成27年度一般会計、特別会計の歳入歳出に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められました。また、基金の運用状況を示す書類の計数についても特に問題とする事項はありませんでした。

本年度の決算審査においては、各課が所掌する新規事業を含めた事業予算の支出についての妥当性・有効性・効率性に着眼重視し実施しました。今後の事業の継続については費用対効果を十分に検証し、より健全な財政運営が図られるよう一層の努力を期待するものであります。

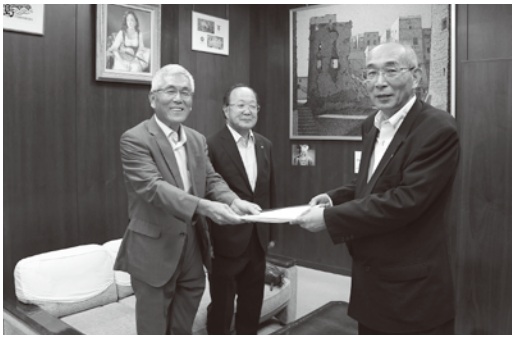
歳入面においては、主である村税の徴収については収入確保に十分努力したものと認められますが、引き続き徴収率向上に向けて努力するとともに、滞納者の経済状況等を勘案し、適切な滞納整理が実施されることを期待します。

歳出における不用額は、今後も所期の目的を達成した事業については、極力減額補正を行い、不用額の削減に努力してください。

また、村の資産及び物品の管理については、良好の状態において管理するとともに、所有の目的に応じた効率的な運用及び使用に努めてください。

最後になりますが、第4次総合計画に掲げる「定住できる地域づくり」「子どもを生み育てたくなる地域づくり」「安心して生活・事業ができる地域づくり」の3点を施策の方向として、「私たちを育む村をみんなで育てる」の実現に向け、着実な施策の推進が図られることを要望して審査の結びとします。

審査意見より（要旨）



意見書を村長に手渡しする委員